

[06_01]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1468012>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 6 (1), 1973-02-20. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

第24回全国共同利用大型計算機センター 運用会議議事要旨

日 時 昭和47年10月5日(木) 10:00~17:00
場 所 大阪大学大型計算機センター 大会議室
議 題

1. 報告事項

各センターの現況について、それぞれ報告があった。

2. 審議事項

1) センター間の協議について(継続)

センター間の連絡、協議に関する小委員会がまとめた諸会議、研究会の性格、運営等について前回に引続き検討した結果、これの成文化にあたり細部について小委員会にて検討整備し、今回の運用会議において確認を得ることとなった。

2) 東京大学大型計算機センター新システムの利用負担金について(継続)

東大から(1)バッチ処理、(2)リモート・バッチ処理、(3)TSS処理、(4)グラフィック・システム利用の4項目に分類した新負担金(案)の提出があり、昭和48年3月31日まで新負担金は徴収しないことをはじめ、詳細な説明があった。これについて種々質疑応答があり継続協議することになった。

3) センター間のプログラム開発に関する調整について(継続)

プログラムライブラリ研究会の幹事校である名大から現状調査の結果報告があり、引続いて意見の交換がなされ、システムの相違による場合の考え方、そのほか若干の問題もあるが、しばらくは、意見交換または情報交換を行なって処理してゆくことで了承された。

4) 計算依頼にかかる利用者の郵送費をセンターが負担することについて

事務協議会から、計算依頼する際の郵送料をセンターで負担してもらいたいという利用者の希望により本件を提出した旨説明があり、これについて論議した結果、受取人払いの問題、負担金体系の問題等があつて適切な方法はないが、遠隔地のため不便であるユーザーや小規模なユーザーの便宜、利益をはかる考え方に全般的な意見の一致をみたので、これについて次回に検討することとなった。

5) その他

1. 東大センター長から共同利用掛の設置等3項目からなる要望書は文部省に提出し説明した旨報告があった。

2. 日本学術会議情報科学小委員会の田中委員長から学術会議で計算機に関する将来計画として(一)計算機学術利用の具体策(二)学術情報体制について討議した旨の報告があり、これに関連した活発な意見の交換がなされた。